

山口大学医学部附属病院から笑顔と情報を発信するコミュニケーションマガジン

# 山大病院だより

2016  
4月号  
vol.228



めぐりーな

NEWS

病院玄関前へバスの乗り入れが始まりました



平日限定



# 病院玄関前へバスの 乗り入れが始まりました

患者さんをはじめ、付き添いやお見舞いの方へのサービス向上のため、病院玄関前ロータリーへのバスの乗り入れが平日限定で開始されました。バス停名は「大学病院」です。ぜひご利用ください。

## ご注意

病院玄関前のバスの乗り入れは、平日限定となります。土日祝日は、これまでと同様に、「大学病院正門口」または「大学病院前バス停」をご利用ください。

めぐりーな					
大学病院					
平日のみ(終点は宇部新川駅)					
恩田・フジグラン方面		沼・工学部方面		宇部新川駅方面	
路線番号	時刻	路線番号	時刻	路線番号	時刻
め39	9:31	め49	10:01	め39	10:22
め39	11:31	め49	12:01	め49	10:53
め39	13:31	め49	14:01	め39	12:22
め39	15:31	め49	16:01	め49	12:53
				め39	14:22
				め49	14:53
				め39	16:22
				め49	16:53

土日祝日は、大学病院正門口または大学病院前バス停をご利用ください。  
(注意) 1月1日・2日・3日、8月15日・16日及び12月30日・31日は日祝日運行です。  
交通渋滞のため遅れることがあります。宇部市交通局 0836-31-1133

平成28年4月1日 改正



## NEWS

### 「女性医療従事者のための更衣・休憩・仮眠室」内覧会および愛称発表を開催しました

このたび、女性医療従事者がライフイベントなどの個々の状況に応じ、安心して働ける職場環境を提供し、更なる定着を図ることを目的として、「女性医療従事者のための更衣・休憩・仮眠室」を新たに整備し、運用を開始しました。

平成28年3月30日(水)、「女性医療従事者キャリアアップ支援事業」として支援いただいた岡学長をはじめ、谷澤医療人育成センター長、澁谷医療人キャリア支援室長ほか、42名の参加のもと内覧会および愛称発表を行いました。

はじめに、谷澤センター長から「大学から支援をいただき、病院としてより女性が働きやすい環境を整えることができました。今後は、男性にも働きやすい職場となるよう職場環境を充実させていきたい」、また、岡学長からは「病院長、センター長の理解のもと大学として支援した証を作っただけ、お礼申し上げます。山口大学は『くるみんマーク』を県内大学で最初に取得し次世代育成支援のための活動を推進しているところであり、更衣室の完成により活動が充実されることを期待している」と挨拶がありました。

引き続き、澁谷室長から愛称発表と表彰が行われました。愛称は学生及び教職員より公募を行い23通(学生8通、教職員15通)の応募から最優秀賞に選ばれた、「Room Kiitos※(ルーム キートス)」に決定しました。

※Kiitos：フィンランド語で感謝やありがとうの意味



- 最優秀賞** 「Room Kiitos」(ルーム キートス)  
時間学研究所 事務補佐員 平田博子さん
- 優秀賞** 「たんぼぼラウンジ」  
保健学科病態検査学 教授 山本 健さん
- 優秀賞** 「PULARE」(ぶらり)  
医学科2年 野崎己都美さん



(左から)岩村事務部長、猪上看護部長、末永氏、田口病院長、松本副病院長



設置されたアート作品(写真は一部です)



3月22日(火)、第1病棟1階エレベーターホールにて、ホスピタルアート設置記念式典を開催しました。  
ホスピタルアートとは病院の中に芸術を取り入れることで、患者さんとご家族に親しみを持ってもらえるよう、緊張感やわらぐ快適な空間を創出すること、また、病院再開整備事業に対する理解と期待を高めることを目的として、患者さんご家族、病院スタッフ並びにアーティストが一つになってタングラム(※)作品を制作しました。

制作にあたっては、昨年11〜12月に院内ワークショップを開催し、作品の基となるピースを作成しました。出来上がった640枚のピースはアーティストの手によって10点のタングラム・パズルの形に組み合わせられた後、「山口の景色」を表現する形に組み替えられ、第1病棟1階エレベーターホールに設置されました。  
式典では、田口病院長が今回のアート制作の趣旨、また、このたび作品を披露することができた喜びを述べられ、続いて、作品制作を手がけてくださった末永史尚氏(山口県出身アーティスト)からは、ワークショップ参加者含む関係者への謝辞を加えて、今回の作品が長く愛されるものになることを願っている旨、挨拶がありました。  
ホールには、作品とともに解説パネルも設置しておりますので、是非ご覧ください。



## 病院整備 計画 だより



再開整備事業へのアクセス

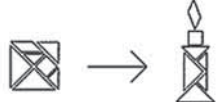
山口大学 再開整備

検索



再開整備事業URL

<http://h-seibi.hosp.yamaguchi-u.ac.jp>



※タングラム…正方形を7つに分割し、それらを組み直して様々な形をつくるパズル。

**NEWS**

**紹介状なしの初診時の選定療養費変更について**

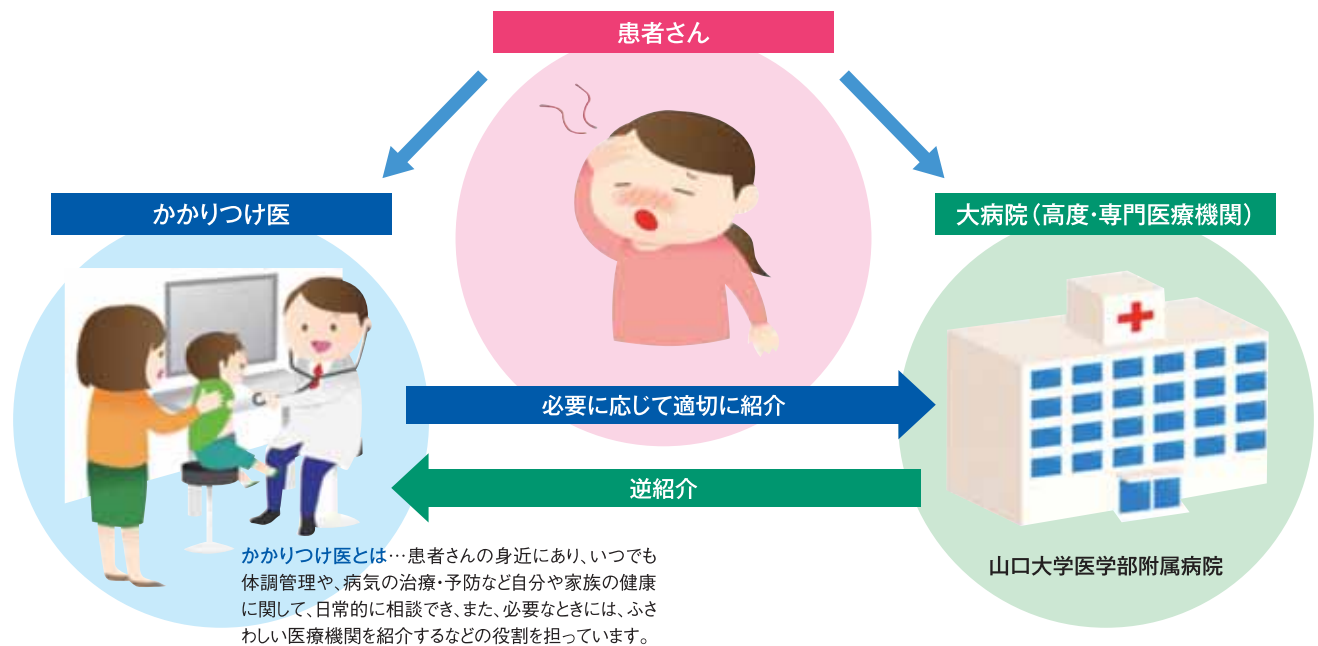
平成28年4月の診療報酬の改定により、「初期の治療は地域の医院・診療所（かかりつけ医）で、高度専門医療は大病院で行う」という「医療機関の機能分化」の推進を図るため、500床以上の大病院を対象に、他の医療機関から紹介状なしで受診する場合の「選定療養費」の金額が改定となりました。

これに伴い、本院でも平成28年4月1日より、初診の際に他の医療機関からの紹介状をお持ちでない患者さんから、初診料とは別に

下記のとおり徴収させていただきます。

本院を受診される時には、できるだけ「かかりつけ医」からの紹介状をお持ちください。

紹介状なしの場合の初診時選定療養費	
医 科	5,400円
歯 科	3,240円



**NEWS**

**てんかんセンターを設置しました**

山口大学医学部附属病院では、平成28年4月1日（金）に「てんかんセンター」を設置しました。

てんかんは、100人に1人の有病率と言われており、全国では100万人以上、山口県でも約1万4000人以上の方が、てんかんの治療を必要としておられると推定されています。てんかんは、子供からお年寄りまで、年齢、性別に関係なく発症する可能性がある病気、また様々な症状が見られるため、てんかんの治療には複数の診療科が連携して治療に当たることが理想とされていますが、これまで山口県には、それを実施する医療機関はありませんでした。

本院では、従来より小児科、脳神経外科、神経内科及び精神神経科が連携して治療を行ってききましたが、このたび、救急搬送時には救急科、麻酔科蘇生科（集中治療室）を加え対応する体制を整え、「てんかんセンター」としました。

てんかんセンターの受診は原則予約制です。現在のかかりつけ病院から、受診予約を取っていただけます。かかりつけ医をお持ちでない場合には、本院医事課外来係（0836-22-2068）にご連絡ください。

なお、電話での症状や治療などの相談はお答えしかねますのでご了承ください。



**編集後記**

新年度がスタートしました。  
本年度も多くの新人さんが加わりました。みなさんよろしく願っています。

皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしております。  
今後読んでみたいテーマ、興味のある記事などお気軽にお寄せください。  
FAX 0836-22-2113 E-mail me202@yamaguchi-u.ac.jp

企画発行：山大病院だより編集委員会  
事務担当：山口大学医学部総務課総務係  
〒755-8505 山口県宇部市南小串一丁目1番1号  
TEL 0836-22-2007 URL <http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp>